



臨床腫瘍センターだより

第37号 (2012年2月15日)

*5大がん地域医療連携パスの動きについて



5大がんの連携パスは、各科の方々のご協力で昨年中に整備が完了し、いつでも運用ができる状況です。電子カルテ上にがん診療策定料・同意書・連携先病院が掲載されています。

まだ現段階において県北地域ではパスを使用する症例は発生しておりません。大学病院ではパスの適応となる患者さんが少ないこと以外に、パスの運用システムに使いにくさがあることもその理由と思われる。

そこでパス関係者の皆様と臨床腫瘍センターで運用の見直しをいたしました。

主治医の先生、外来担当の看護師さんと協力し、臨床腫瘍センターで適応できると思われる患者さんのリストを作成し、可能な場合に入院前から介入のお手伝いをさせていただくようにいたしました。当センターで患者様へのパスの説明・連携医療機関の選定・相談・連絡調整等をさせていただきます。また、電子カルテのパスの項目を改善し、登録医療機関を各がん腫に整理してみやすいように掲載しなおしました。

5大がんのパスを有効に活用するために、今後とも皆様のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

連絡先：臨床腫瘍センター/青山 智子(内線：3160)

*東日本大震災支援物資(医療用ウィッグ、タオル帽子)の提供終了と今後のご案内

被災地のがん患者にケア用品を届けるという「ワンワールドプロジェクト」から頂いた医療用ウィッグや帽子は、約250組の患者様に提供できました。多くの患者さんから感謝の言葉を頂き、ウィッグの意義を再認識した8ヵ月間でした。在庫がなくなりましたので、当院での提供を終了致します。今後は、ワンワールドでウィッグ等を中央管理し支援の継続をして行くこととなります。相談支援センターでは、治療後の脱毛等の相談は継続していきます。ウィッグの購入を希望される患者様には相談支援センターが窓口となりご案内致しますが、生活面や経済面で必要性の高い患者様に対しては、ワンワールドと連携して支援させていただきます。なお、他団体よりご提供頂いている帽子は若干の在庫がありますので、帽子の無料提供や医療用ウィッグのご相談のある方は、臨床腫瘍センターまでご連絡をお願い致します。最後に、ウィッグの無料提供にあたりご協力・ご支援いただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。

連絡先：臨床腫瘍センター/がん看護専門看護師 三浦 浅子、MSW 池田 紀子(内線:3161)

〈1月外来化学療法センター利用状況〉 利用者数 292名

| | | | |
|--------------|----|------------|-----|
| 肝胆膵・移植外科 | 19 | 血液内科 | 19 |
| 呼吸器外科 | 6 | 婦人科 | 26 |
| 消化管外科 | 40 | 泌尿器科 | 12 |
| 乳腺、内分泌、甲状腺外科 | 86 | 皮膚科 | 12 |
| 呼吸器内科 | 24 | リウマチ・膠原病内科 | 7 |
| 消化器内科 | 15 | 小児科 | 25 |
| 整形外科 | 1 | 合計 | 292 |



臨床腫瘍セミナー開催案内

日 時: 平成24年 2月21日(火) 18時~19時
場 所: 11号館(臨床講義棟)第二臨床講義室
演 題: 「低線量被ばくと医療被ばく」
講 師: 福島県立医科大学
放射線健康管理学講座
助手 宮崎 真 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します
文責:臨床腫瘍センター <問い合わせ先>

Cancer Board開催案内

2月 16日(木) 19:30~ 消化器
2月 20日(月) 18:30~ 骨軟部
2月 27日(月) 19:00~ 悪性リンパ腫

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的に開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

内線:3160 E-mail:kataokaa@fmu.ac.jp 担当: 片岡